

平成19年度 外務省ODA予算のポイント

平成18年12月
外務省国際協力局

I. 19年度予算の概要

(単位: 億円)

	平成18年度		平成19年度	
	予算額	伸率	政府案	伸率
政府全体	7,597	△3.4%	7,293	△4.0%
外務省	4,733	△3.0%	4,544	△4.0%
無償資金協力	1,682	△4.7%	1,636	△2.7%
JICA	1,575	△1.6%	1,556	△1.2%
JBIC交付金	300	0.0%	200	△33.3%
国際機関	557	△3.8%	532	△4.6%
援助活動支援等	618	△2.7%	620	0.2%
財務省	1,932	△5.3%	1,853	△4.1%
うち JBIC出資金	1,659	△4.9%	1,591	△4.1%
その他府省	932	△0.9%	897	△3.8%

II. 18年度補正追加額の概要

(単位: 億円)

	平成17年度補正		平成18年度補正		
		増△減額		増△減額	
政府全体	345	+190	862	+517	
うち外務省	323	+168	862	+539	
【18年度補正の内訳】					
> 東アジア青少年交流拠出金	350億円	> 世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金	205億円	> イラク復興開発無償援助	111億円
> 日本・ASEAN包括的経済連携協力基金拠出金	58億円	> 鳥及び新型インフルエンザ対策拠出金	43億円	> 国連民主主義基金(UNDEF)拠出金	11億円
> 国際農業研究協議グループ(CGIAR)拠出金	5億円	> 在イラク大使館事務所整備	17億円	> 国連PKO分担金	58億円
> 国連通常分担金	3億円				

III. 当初+補正ベースでの比較

(単位: 億円)

	17年度補正+18年度当初		18年度補正+19年度政府案	
		伸率		伸率
政府全体	7,942	△0.9%	8,156	2.7%
うち外務省	5,056	0.4%	5,406	6.9%

➤ 無償資金協力 1636億円 (△46億円、△2.7%)

- 2.7%減の中、以下に重点措置しメリハリづけ
 - ①アジア大洋州における戦略的な日本外交の展開
⇒情報通信 26 億円 (+1 億)、人材育成研究支援 (+4 億) 等
 - ②ミレニアム開発目標達成への貢献、対アフリカ支援強化
⇒水資源・環境 245 億円 (+10 億)、貧困削減戦略支援 6 億円 (新規)、
コミュニティ開発支援 42 億円 (+2 億) 等
 - ③多様化する外交ニーズへの対応
⇒テロ対策等治安 72 億円 (+2 億) 等

➤ JICA 交付金 1556億円 (△19億円、△1.2%)

- 「基本方針 2006」や「予算執行調査結果」等を踏まえ、包括的な効率化目標の設定や既存事業の見直しにより徹底した合理化
⇒△59 億円 (業務運営の効率化△25 億円、既存事業の見直し△34 億円)
- 一方、対アフリカ向け ODA 倍増等、国際公約を踏まえた重点政策課題を推進するための経費を増額
⇒+40 億円 (アフリカ支援、東アジア経済統合推進、再チャレンジ支援 等)

➤ JBIC 交付金 200億円 (△100億円、△33.3%)

- ODA 予算を巡る厳しい状況を踏まえつつ、円借款の債権放棄が JBIC の財政基盤に与える影響等諸般の事情を総合的に考慮した結果、前年度比 100 億円削減

➤ 分担金・拠出金 532億円 (△26億円、△4.6%)

- 円安の影響等の増圧力がある中、分担金・義務的拠出金の当初予算への影響を極力抑制する工夫 ⇒任意拠出金の削減幅は△1.4%に止める
- その上で、我が国の外交政策上の重点事項、官民による協力実績、我が国の政策の反映度合い、邦人職員の採用・登用状況等を勘案しながら国際機関間で拠出額にメリハリづけ
⇒国連開発計画 (UNDP) 拠出金コアファンド 87.0 億円 (+4.5%)、
国連人口基金 (UNFPA) 拠出金 39.7 億円 (+4.5%)、
国連児童基金 (ユニセフ) 拠出金 15.4 億円 (△34.3%) 等

➤ ODA 実施体制の強化

- NGO が政府との連携型事業を実施するための能力向上支援については、NGO 長期スタディプログラム等の新規事業の導入含め 4.7 億円 (+64.2%) を確保
- 現地機能強化のため、援助協調を担当する経済協力調整員予算については、1.0 億円 (+142.3%) (6 名→9 名)
- 無償資金協力事後評価については、0.6 億円を維持

平成19年度外務省ODA一般会計予算概要

(単位：百万円、%)

区 分	18年度	19年度		
	予算額	政府案	増減額	伸率
外務省ODA予算計	473,291	454,359	▲18,932	▲4.0
1. 国際協力機構 (JICA)	157,516	155,626	▲1,890	▲1.2
2. 無償資金協力	168,225	163,600	▲4,625	▲2.7
(イ) 一般無償	105,339	104,689	▲650	▲0.6
・ 一般プロジェクト無償	67,489	67,489	0	0.0
うち広域開発無償	1,500	1,500	0	0.0
うち感染症対策無償	11,500	10,000	▲1,500	▲13.0
うち情報技術無償	2,500	2,600	100	4.0
うちガバナンス無償	1,500	1,500	0	0.0
うち水資源・環境無償	23,500	24,500	1,000	4.3
うち対人地雷対策無償	3,000	3,000	0	0.0
うち子どもの福祉無償	15,000	15,200	200	1.3
うちリハビリ無償	1,500	1,500	0	0.0
・ ノン・プロジェクト無償	20,000	20,000	0	0.0
うち紛争予防・平和構築無償	13,500	12,800	▲700	▲5.2
うちセクター・プログラム無償	5,000	5,000	0	0.0
うち貧困削減戦略支援無償	0	600	600	新規
・ 草の根・人間の安全保障無償	11,000	10,000	▲1,000	▲9.1
・ 日本NGO連携無償	2,850	2,800	▲50	▲1.8
・ 人材育成研究支援無償	4,000	4,400	400	10.0
うち人材育成支援無償	3,500	3,900	400	11.4
(ロ) テロ対策等治安無償	7,000	7,200	200	2.9
(ハ) 防災・災害復興支援無償	3,500	3,600	100	2.9
(ニ) コミュニティ開発支援無償	4,000	4,200	200	5.0
(ホ) 水産無償	5,000	4,950	▲50	▲1.0
(ヘ) 文化無償	2,050	2,000	▲50	▲2.4
(ト) 緊急無償	24,000	18,600	▲5,400	▲22.5
うち復興開発支援分	20,000	14,600	▲5,400	▲27.0
(チ) 食糧援助	12,332	13,440	1,108	9.0
(リ) 貧困農民支援	5,004	4,921	▲83	▲1.7
3. 国際協力銀行 (JBIC)	30,000	20,000	▲10,000	▲33.3
4. 国際機関への分担金・拠出金	55,734	53,177	▲2,556	▲4.6
5. 援助活動支援等	61,817	61,956	140	0.2

(注) 四捨五入の関係上合計に不一致あり。